

YAC新春の伊豆ヶ岳 851m

日 時：2016年1月4日（月）

集 合：西武秩父線正丸駅10時10分

行 程：837 池袋—929,932 飯能—1008,1017 正丸駅～～1222,1340 伊豆ヶ岳～1450,1500
奥村茶屋～1554,1557 正丸駅—1732 池袋

累積標高差：約600m

歩行距離：約8km

抜けるような青空の下、西武らしく立派な正丸駅でK一家と合流。無風気温高し。YAC史上最多と思われる総勢14名の大部隊は凍つく舗装路を賑やかに歩き出す。点在する集落を抜け、30分程で正丸峠への道と分かれ山道に入る。

コースの大部分は余り手入れの良くないスギヒノキの混交林だが台風被害と思われる倒木や大岩が散乱して荒れた沢沿いの急登が延々と続き大汗。リョウブ、コナラ、ミズナラ、アセビ、ヤマザクラ、ヤシャブシ、ホオノキ、クリなど同定。

最後の詰めは正面の男坂ではなく右から回り込む女坂に行くが、これも中々の急登で何とか山頂に辿り着く。直下の広場にシート3枚広げて新年会開宴。コンロ2台フル回転で餅を焼く。いい匂いがするのか脇を通る登山者がうらやましそう。皆が持ち寄ったつまみは尽きないが、以前よりアルコール消費量は激減して「YAC」返上か？ 帰路は稜線伝いに小高山、奥村茶屋のある新正丸峠経由急傾斜で薄暗い沢を下る。

平成13年の台風による山崩れで治山工事を行ったとの看板アリ、土砂流出防備保安林に指定されているようだ。小沢に懸った丸木橋に子供たちは大喜び。樹齢200年になろうかという巨大スギに目を奪われる。お申講の祠やイノシシの罠など見ながら正丸駅へ。

K一家との挨拶もそこそこにタイミングよく来た電車に飛び乗る。池袋にて有志で二次会へ。偶々見つけた焼き鳥屋は昭和歌謡が流れる超ユニーク酒場で皆満足。





